

< もくじ >	
1. 今年度連続講座第3回の受講申し込み受付中です	1
2. 第1回・戦後70年座談会『言いたい・聴きたい・反論したい会』概要報告	2
3. 研究会からのお知らせ	2~3
4. 各研究会の概要報告	3~4
5. 共催イベント参加へのご案内	4~5

## 1. 今年度連続講座第3回の受講申し込み受付中です

第3回講座の概要をお知らせいたします。受講のお申し込みをお待ちしております。

◆第3回講座は、2015年11月21日（土）開催です。◆

講演テーマ：「相続が争族にならないために」

講師：加藤 隆（NPO 法人 相続・遺言相談センター）

（講演要旨）

「敬老の日」がシルバーウィークの真中となりました本年、総務省発表では高齢者人口は 3186 万人、総人口に占める割合は 25.0%で過去最高となり、4人に1人が高齢者となりました。これはいわゆる「団塊の世代」が、新たに 65 才に達したことが一因と思われます。

自分の財産や思い出の品を遺された家族・身内やお世話になった方へ、財産の分与・遺贈することを自分らしく決めることができるのが「遺言書」です。法律的に正しい「遺言書」を作成しないと無効となるケースも散見されています。相続トラブルを防ぐために、元気なうちに考えることも大切なことです。家族・親族の双方が悩まない「遺言書」について、どんなことに注意すべきかを考えていきたいと思えます。

※全6回については既にお送りしましたチラシかホームページをご参照ください。

1) 場 所 : 東京銀座・資生堂 9Fホール

2) 開催要領 : 各回とも、14時~16時の開催。募集人数は最大45名。

各回の参加費は、会員2500円、非会員3000円。会場にてお支払いください。

※お申し込みは、①氏名、②参加の講座、③連絡先を明記し、eメール、FAXで事務局まで。

※今後とも各回ごとに JAAS News など随時お知らせいたしますが、ご家族やご友人などにもお声掛けをお願いいたします。多数の方のご参加をお待ちしております。（事務局担当 鈴木）

◇連続講座第2回参加者の感想（アンケート回答より抜粋）

第2回講座「長寿時代の生活設計」講師：木村嘉男

- ・感想1 増々老後が不安になり、再度生活設計の見直しの必要を感じ勉強になりました。また、少額投資を勉強しようと思えます。(60代女性)
- ・感想2 野村證券の立場ではなく、人生設計のあり方を分かりやすくご説明されて、良かったと思います。参考になりました。(70代以上男性)

## 2. 第1回・戦後70年座談会「言いたい・聴きたい・反論したい会」

### 概要報告

9月16日(水)シニア社会学会事務所にて開催された。出席者は袖井会長を囲み男女同数の計12名。遠く新潟から駆け付けた方、終了後デモに参加する予定者も数人。新安保法案の国会審議の山場と重なって、急遽、第2回予定のテーマ「安倍政権の憲法解釈と集団自衛権の行使」に差し替え。冒頭から新安保関連法案について厳しい意見が集中。違憲、憲法解釈の論理矛盾、軍事抑制効果、日米産軍複合体の要請等が議論された。他方で暗黙裡に法案を了承する国民感情の存在も指摘された。「日本は敗戦により平等、民主主義、反戦、護憲の思想が根付いた」と戦争の悲惨さを体験した世代ならではの発言もあった。法案に影響を与える日米関係から天皇制、マスコミの動向、国会運営への不満、孫たちの将来への不安、外交への期待等話題は幅広く展開。私たち国民は、どう対処すればよいのか。ただ殻に籠って「憲法9条を守れ」ではなく、紛争解決のアイデアを持って世界に平和を働きかけねばならない、という思いに溢れた2時間でした。

(安田和紘記)

## 3. 研究会からのお知らせ

### (1) 第26回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2015年10月22日(木) 15:00~18:00

2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室

3) テーマ：4名の執筆者からの発表と意見交換

①荻野義雄さん ②杉山由美子さん ③福元公子さん ④安田和紘さん

4) 参加費：300円

(島村記)

### (2) 第90回 社会保障研究会 開催のお知らせ

1) 日 時：2015年10月28日(水) 18:00~20:00

2) 報告者：寺西 知也(wiwiw コンサルタント 社会福祉士)

3) テーマ：「企業における従業員の仕事と介護の両立の実態と支援」

4) 会 場：労働者協同組合 会議室

東池袋1-44-3 池袋I SPタマビル 8階

※ご質問がございましたら、佐藤まで。090-4436-6853 [fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp](mailto:fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp)

### (3) 第14回ガバナンス研究会開催のお知らせ

1) 日時：11月8日(日) 16:00~18:00

2) 場所：地域サロン「ぶらっと」(JR 武蔵境駅北口徒歩5分)

3) テーマ：「戦後70年とガバナンス」

4) テキスト：なし

5) 参加費：700円(資料代など込み)

6) 申し込み：m\_kawa@musashino-u.ac.jp(川村理事)

### (4) 第25回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

1) 日 時：2015年11月30日(金) 18:00~20:30

2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館6階第7会議室

3) 報告者：柄本三代子(東京国際大学準教授)

4) タイトル：食の『安全・安心』をめぐる取り組みについて

5) 参加費：500円(学生は無料、ただし社会人入学者を除く)

※お問い合わせ、参加申込は事務局・福原(fukuhara@jaas.jp)迄お寄せ下さい

## (5) 第22回「シニアのICT活用研究会」開催のご案内

11月の月曜日に開催の予定で調整を進めています。

本研究会に関心をお持ちの皆さまは、会員資格の有無に関係なく、ご参加ください。開催日、話題提起者が決定次第、シニア社会学会のホームページでご案内いたします。

1) 日 時： 2015年11月の月曜日 17:00~19:00

2) 場 所：(公財)ダイヤ高齢社会研究財団 会議室  
新宿区新宿一丁目34番5号直田ビル3階

3) 話題提起者：未定

4) テーマ：未定

5) 参加費：500円

※参加のご連絡およびご質問については、澤岡 sawaoka@dia.or.jp (@は、半角にしてメール送信ください)までご連絡ください。

## 4. 各研究会の概要報告

### (1) 第25回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

1) 日 時：2015年9月17日(木) 15:00~18:00

2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室

3) テーマ：4名の執筆者からの発表と意見交換

4名(駒宮淳子さん、佐藤敬さん、荻野義雄さん、福元公子さん)の方から、各々執筆に当たったの考え方、まとめ方、内容等について発表があり、意見交換が行われた。(島村記)

### (2) 第24回「災害と地域社会」研究会の概要報告

1) 日 時：2015年9月28日(月) 18:00~20:00

2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス39号館6階第7会議室

3) 報告者：川副早央里(早稲田大学大学院博士後期課程)

4) タイトル：「震災アーカイブの社会的意義を考える

—いわき明星大学震災アーカイブ室の取り組みから—

川副早央里さんは、3年以上にわたっていわき市に部屋を借りて居住し、被災地コミュニティの研究および震災アーカイブの研究に携わっておられます。震災の被災地で数多く行われている震災アーカイブは、過去の災害に関しては、研究者、行政、図書館・博物館・文書館などの業務として行われてきましたが、阪神淡路大震災以降、研究者や公的機関ばかりでなく、ボランティア組織なども参加するようになり、被災者の記憶が強く残っている写真やその他の資料を収集する一連の作業で、その意義は広く一般的に認められるようになりました。しかしながら、アーカイブ作業は、資料を保持している方々にとっても、収集する側にとっても、それを提供し収集する行為が持つ意味について必ずしも合意があるわけではなく、その個人的、社会的意味についてはつねに反省を伴いつつ行われているのが現状です。いわき明星大学の地域復興の事業の一環としてその作業に積極的にかかわってきた川副さんは、これまでの震災アーカイブ作業の歴史と意義をレビューし、具体的な収集作業の過程で、提供者とのコミュニケーションを通じて考え悩んできた自らの活動について、収集⇒整理⇒保存⇒活用の4つの過程に分けて反省的に考察し、収集段階での交渉過程の重要性、とくに活用段階での個人的意義とそれを社会的意義に高めていく可能性を示唆する視点から報告されました。その報告からは、研究者という立場と、被災者個人および被災地コミュニティに対する支援の立場の緊張関係のなかで苦闘されている様子がよく伝わってきました。川副さんは、11月14日の「あれから5年~わたしたちはフクシマを忘れない~」の2回目のシンポジウムにおいても、今回の内容に近い報告をされる予定ですので、ご関心のある皆様のご参加をお待ちしております。(長田記)

### (3) 第89回 社会保障研究会の報告

- 1) 日時：2015年9月30日(水) 18:00~20:00
- 2) 場所：日本労働者協同組合会議室(豊島区東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル 8階)
- 3) 講師：王 凍(城西国際大学大学院生)
- 4) テーマ：一億人を越えた中国の高齢者介護事情について～山東省青島市での調査を通して～

中国国家统计局が発表した「2014年国民経済と社会発展統計公報」によると、2014年年末時点で、中国人口13.67億人のうち60歳以上の人口は2.12億人、総人口の15.5%を占めている。65歳以上の人口は1.37億人となり、高齢化率は10.1%となっている。

山東省青島市は2014年年末で、総人口は約780万人、60歳以上の人口は153万人に達し、総人口の19.6%を占める。上海に次いで高齢化率2番目の都市である。なお、2035年前後、高齢化がピークに達し、高齢化率が35%にもなると予測されている。

今後、高齢者人口がさらに大幅に増えていくと予測される青島では、現在の高齢者福祉政策や環境整備では対応しきれない問題が山積みである。高齢者の介護問題については、「一人っ子政策」による子供数の減少や平均寿命の伸長等の影響で、従来の「家庭介護」から「社会的介護」への転換が焦眉の急となっている。2015年3月青島で実施した「老後に関する意識調査」では、78%の高齢者が自宅で老後生活を送りたいと望んでいた。しかし、現在、高齢者の在宅生活を支える在宅介護システムは構築されておらず、多くの高齢者のニーズに応えられないのが現状である。いかにして青島および中国の高齢者の在宅介護システムを構築するかという喫緊の課題解決に向けて、日本の在宅介護を参考にしながら、さらに研究を深めていきたいと考えている。(王 凍 記)

## 5. 共催イベント参加へのご案内

### (1) 「あれから5年～わたしたちはフクシマを忘れない」第2回シンポジウムのご案内

本年3月14日(土)に開催されました研究会合同シンポジウムは、盛況のうちに終えることができました。ご参加いただいた多くの会員の皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。

先月のJAAS News 第194号(9月16日発行)ですすでにお知らせいたしましたように、このテーマは1回のシンポジウムで終わらせることのできない今年の重要なテーマであり、「災害と地域社会」研究会では、「早稲田大総合学人文科学研究センター」と共催で、第2回のシンポジウムを企画いたしました。今回は、浪江町から舞台を「いわき市」に移して、外部からのサポートの仕方やその意義について考えることが中心になります。また、このような取り組みと福島県内の危険区域から各地域に避難されている方々に対するサポートの取り組みとの関連についても、一緒に考えていきたいと思っております。

- 1) 日 時：2015年11月14日(土) 14:00~17:00
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス33号館低層棟6階第11会議室  
(スロープを上がって、中庭広場正面に見える新しい建物です。中庭右の高層の建物ではありませんが、33号館低層棟へは高層棟入口から入ります)

### 3) パネリスト：

#### ◆報告者：

- ・川副早央里(早稲田大学大学院博士後期課程。いわき市に居を構え、他のグループと連携しながら、被災者支援を兼ねて、地域コミュニティの変容と未来の再生について3年以上研究している)

タイトル：「被災状況が重層する地域で求められる支援—震災アーカイブの取り組みから考える—」(仮)

- ・佐藤 緑(2012年より特定非営利活動法人シャプラニール=市民による海外協力の会の震災対応タスクフォーススタッフとして2年間いわき市に駐在。さまざまな立場の被災者支援にあたる。会津若松市出身)

タイトル：「取り残される被災者とともに歩んだ、NGOとしての支援活動」(仮)

- ・平山 勉（音楽プロデューサーとして活躍する一方で、出身地である福島県富岡町の「有限会社ホテルひさご」の代表。富岡町の情報発信サイト、「相双ボランティア」や双葉郡住民の寄合の場「双葉郡未来会議」も運営する。）。

タイトル：「双葉郡住民としてのリアリティ」（仮）

◆コメンテーター：

- ・伊藤まり（浪江町から避難し、転々として現在は横浜市に居住。震災前までは、家業の鉄工所の仕事を手伝う傍ら、社会教育指導員及び社会教育委員として主に高齢者教育や男女共同参画問題を担当。浪江町情報公開審議委員、福島県警少年補導員、浪江商工会女性部副部長、グローバル研究会ふくしまメンバー。福島県浪江町出身）
- ・浦野正樹（早稲田大学教授、早稲田大学総合人文科学研究センター〈現代の危機と共生社会〉研究部門代表。専門は、都市コミュニティ研究、災害社会学）

4) コーディネーター：長田攻一（シニア社会学会理事、「災害と地域社会」研究会座長）

5) 共催：早稲田大学総合人文科学研究センター

6) 申し込み方法：①氏名、②連絡先を明記し、eメール（jaas@circus.ocn.ne.jp）、FAX（03-5778-4728）で事務所までご連絡ください。

7) 参加費：無料 （長田記）

## (2) 「大磯コミュニティ・カレッジ」講演会のご案内

濱口副会長が发起人として立ち上げられ、当学会が後援する表記講演会で、濱口副会長が講演されますので、ご案内致します。

1) 日 時：12月3日（木）14：30～16：30

2) テーマ：鬼退治をしない桃太郎物語～争うという現象はどういう構造をもっているか～

3) 会 場：JR大磯駅前のエリザベス・サンダース・ホーム交流スペース

4) 申込み・問合せ：電話0463-61-0476（こみゅにてー・パティオかりん・富山氏）

5) 参加費：1回 1,000円 （島村記）

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階

電話&FAX：(03) 5778-4728

eメール：[jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp) URL：<http://www.jaas.jp/>